

道の駅再整備事業に関するサウンディング型市場調査の結果について

令和6年4月12日
木島平村産業企画室

道の駅 FARMUS 木島平の再整備にあたり、導入機能、運営手法等に係る提案をいただくとともに、事業の市場性等を確認し、今後の事業実施に向けた参考とするため、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を報告します。

1 実施経過

日程	内容	備考
令和5年12月22日（金）	実施要領の公表	
令和6年2月2日（金）	現地説明会	参加事業者4者
令和6年3月21日（木）から 令和6年3月27日（水）まで	サウンディング調査の実施	参加事業者3者

2 主な意見・提案等

(1) 道の駅コンセプトについて

- ・ 村内外を結ぶ良い立地条件にあるので、道の駅の地域ハブ化と滞在型の枠組みを構築し、従来の立ち寄り型の休憩・食事場所だけではなく、観光の拠点のひとつとして、村内・村外の各拠点とのハブ役を担い、遊ぶ、学ぶ、体験する、仕事する、食べる、泊まれる道の駅とする。
- ・ 飯山駅からのアクセス環境が良く、観光拠点として馬曲温泉、スキー場などウェルネス（心身のゆとり）に紐づくツーリズムに最適な環境が整っている。村の玄関口として、観光客、地域住民を迎え入れる施設としてリニューアルし、ウェルネスを体験する施設として、さらに交流拠点、ウェルネスを生み出すハブ拠点とする。

(2) 誘客ターゲット層について

- ・ ミドルシニア～シニア層
- ・ インバウンド

(3) 提案機能について

- ・ ブルワリー醸造所
- ・ 生ハム製造所
- ・ コワーキングスペース
- ・ 簡易宿泊施設（2者提案）
- ・ キャンプサイト
- ・ 木島平産の米や水を活かした飲食物販
- ・ ワークेशन
- ・ 趣味や遊びを楽しめるアクティブ棟

(4) 誘客プログラム

- ・ 龍興寺清水、木島平米を使用したクラフトビールの製造と販売に加えて醸造体験もできる道の駅として誘客を図る。
- ・ みゆきポークなどを使用したソーセージ、生ハムの製造、販売と製造体験できる道の駅として誘客を図る。
- ・ コワーキングスペースは企業、個人事業主、起業家を中心に利用され、人が人を呼ぶ場として需要がある。施設内でのお試し出店や宿泊可能な施設として利用促進につなげる。
- ・ 簡易宿泊施設、ワーケーション機能により、近隣の高原や温泉を楽しみながら、仕事や交流を求める観光客をターゲットに誘客を図る。
- ・ 健康教室、料理教室、酒イベントやチャレンジショップなどを定期的で開催し、趣味や健康増進、遊びを楽しめる場として誘客を図る。

(5) 運営方式

- ・ 指定管理者制度による管理運営で期間は3年程度が望ましい。指定管理料は、当初3年間は必要であるが、4年目以降は自主運営を考えている。
- ・ 指定管理者制度による管理運営で指定期間は長期が望ましい。ただし、惰性的な運営にならないよう適切な期間を設定する必要がある。
- ・ トイレや情報発信など公益的な部分に対する指定管理料は必要と考えるが、指定管理料ありきでの運営は考えていない。
- ・ 売り上げだけで経営が成り立つ場合は、指定管理料はゼロで、その利益に応じて一定率を行政に収める方式としている施設実績もある。

(6) 発注方式

- ・ 運営候補者を先行決定し、運営候補者の意見を設計に反映させる。(2者提案)

(7) その他

- ・ 道の駅敷地内へ系統用蓄電池および急速EV充電ステーションを設置。
- ・ 停電など非常時は道の駅へ電力供給や地域住民が所有するEV車の充電などに活用。
- ・ 平時は電力市場へ電力売買やEV充電ステーションとして運用。道の駅への電力供給も可能。